

株式会社 J ストリーム

平成19年3月期（第10期）
中間決算説明会

平成18年11月16日

1Q、2Qともほぼ同水準の売上を達成。利益面も順調。

◆**売上高 1,720百万円（前年比+53.0%）**

◆**経常利益 104百万円（前年比+108.3%）**

持分法投資損失 26百万円計上

現時点では通期業績見通しに変更なし

◆**セグメント**

オンデマンド、モバイル配信が好調で売上／利益に貢献

【その他】

任期満了に伴い監査法人を変更（新日本監査法人）

人員数 9月末 137名（3月末114、17年3月末80）

営業人員の比率が若干低下

営業：技術：管理 = 4：4：2 → およそ3：4：2に

バランスシート（連結）

（単位：千円）

		第10期中間	主な変動要因			第9期末	第9期中間
資産の部	流動資産	2,813,206		資産の部	流動資産	2,814,525	2,816,809
	固定資産	769,663	建物付属設備+9 器具備品+7 (オフィス増床)		固定資産	742,949	399,701
	有形固定資産	173,017			有形固定資産	158,588	149,903
	無形固定資産	257,049			無形固定資産	238,686	196,779
	投資その他の資産	339,596			投資その他の資産	345,674	53,019
資産合計		3,582,869		資産合計		3,557,474	3,216,510
負債の部	流動負債	394,491	未払金△127 未払法人税等35	負債の部	流動負債	479,090	225,329
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	少数株主持分	少数株主持分	67,426	65,168
		資本剰余金	1,430,642		資本金	2,169,223	2,163,745
		利益剰余金	△493,967		資本剰余金	1,417,485	1,412,008
	少数株主持分	69,323	利益剰余金		△575,751	△649,740	
	純資産合計	3,188,377			負債・少数株主持分 及び資本合計		3,557,474
負債・純資産合計		3,582,869		負債・少数株主持分 及び資本合計		3,557,474	3,216,510

▶ オフィス増床を行った影響、営業ベースでの未払金減少以外大きな変動はない 3

(単位:千円)

	第10期中間 A	第10期中間 (個別)	第9期中間 (連結) B	増減比 (A:B)
売上高	1,720,446 (100%)	1,571,110 (100%)	1,124,518 (100%)	(+53.0%)
売上原価	1,032,307 (60.0%)	960,967 (61.2%)	668,536 (59.5%)	(+55.5%)
売上総利益	688,139 (40.0%)	610,142 (38.8%)	455,981 (40.5%)	(+49.4%)
販売費及び一般管理費	566,632 (32.9%)	503,602 (32.0%)	415,817 (37.0%)	(+36.3%)
営業利益	121,507 (7.1%)	106,540 (6.8%)	40,164 (3.5%)	(+202.5%)
経常利益	104,600 (6.1%)	125,790 (8.0%)	50,221 (4.5%)	(+108.3%)
税金等調整前中間(当期)純利益	104,639 (6.1%)	125,790 (8.0%)	50,581 (4.5%)	(+106.9%)
中間(当期)純利益	81,783 (4.8%)	107,839 (6.9%)	49,466 (4.4%)	(+65.3%)

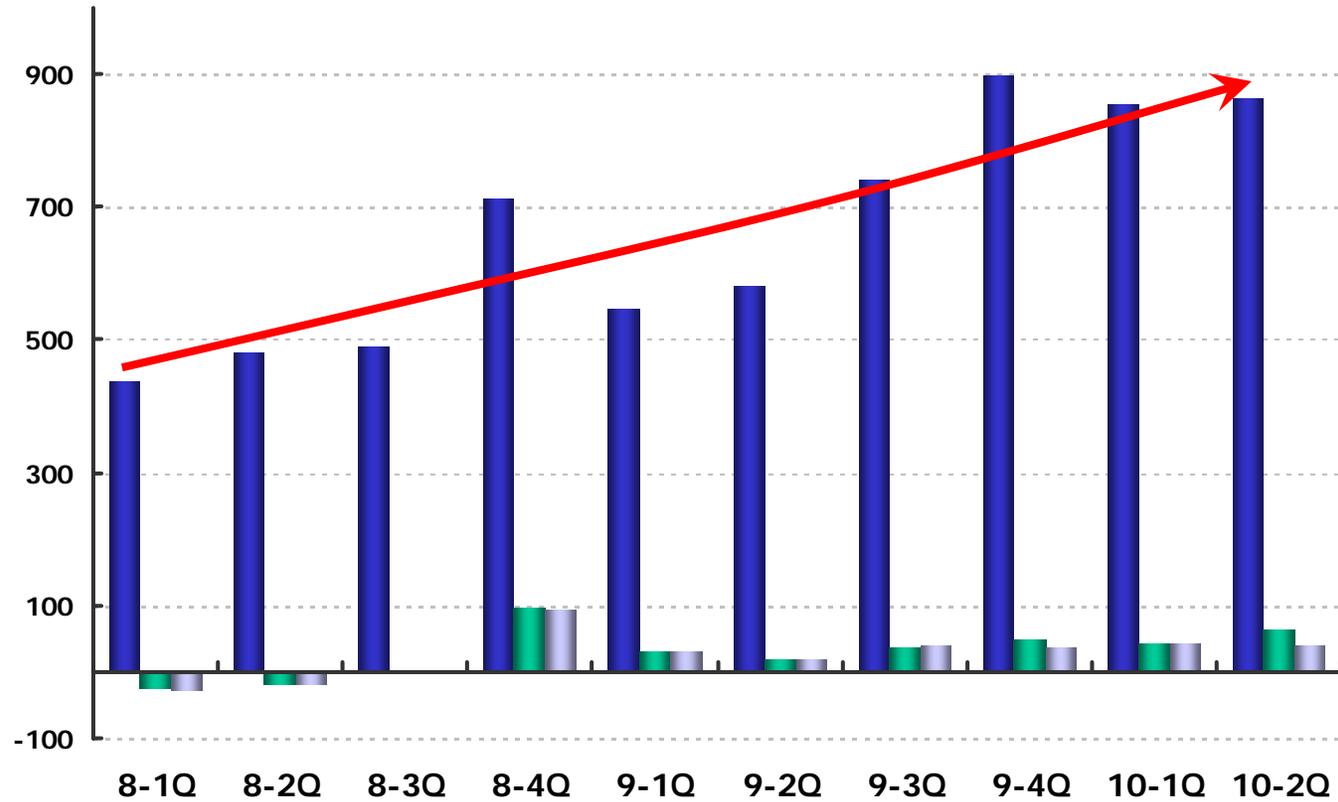
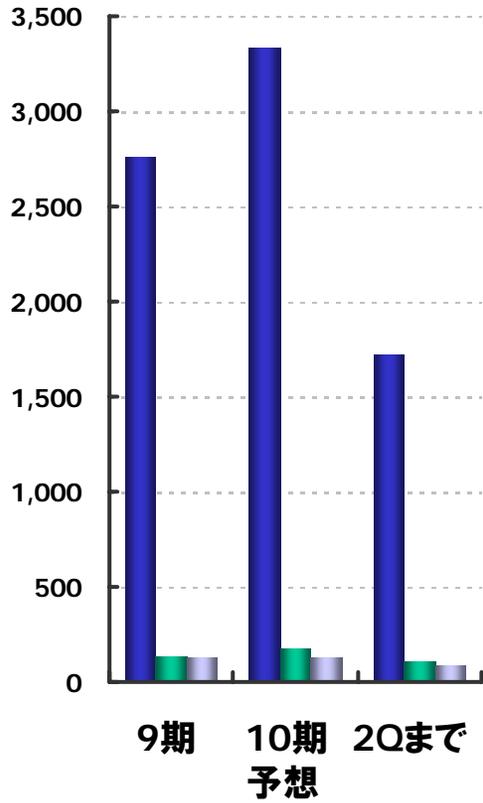
<連結⇔個別の主要な項目(売上高除)>

営業外収益	11,847 (連結)	営業外費用	28,753 (連結)
	22,299 (個別)		3,049 (個別)
うち業務受託手数料(相殺)	△10,363	うち持分法投資損失	25,782

▶ 前期対比売上高53%増。再建進行中のクロスコ株式会社(フレックスインターナショナルより社名変更)の投資損失の影響が大きい、想定範囲。

四半期別利益推移 (連結)

(単位:百万円)



売上高	2,761	3,330	1,720 (51.7%)
経常利益	135	180	104 (58.1%)
経常利益率	4.9%	5.4%	
純利益	123	130	81 (62.9%)

()は進捗率

	437.6	481.1	490.2	712.5	546	578.5	739	898	856.4	863.9
	△26.0	△ 17.7	1.3	95.8	30.8	19.3	37.4	47.5	41.8	62.7
	△5.9%	△3.7%	0.3%	13.4%	5.6%	3.3%	5.1%	5.3%	4.9%	7.3%
	△ 26.5	△ 18.2	1.2	93.2	30.5	18.9	39.1	34.8	42.5	39.2

▶ 売上増とともに経常利益率は徐々に良化の傾向

売上原価 構成比率（連結）

※第10期中間 構成比率順 単位：千円

	第10期中間		第9期中間		第9期通期	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
外注費	362,924	(34.9%)	208,461	(31.2%)	641,588	(38.4%)
労務費	205,924	(19.8%)	113,281	(16.9%)	271,840	(16.3%)
通信費	155,493	(15.0%)	129,025	(19.3%)	270,187	(16.2%)
業務委託手数料	99,078	(9.5%)	85,649	(12.8%)	186,325	(11.2%)
ロイヤリティ	94,412	(9.1%)	20,610	(3.1%)	73,635	(4.4%)
賃借料	39,587	(3.8%)	37,658	(5.6%)	78,781	(4.7%)
保守料	33,576	(3.2%)	32,135	(4.8%)	64,360	(3.9%)
ソフトウェア償却	29,821	(2.9%)	22,137	(3.3%)	51,608	(3.1%)
減価償却費	27,390	(2.6%)	21,102	(3.2%)	52,208	(3.1%)
地代家賃	19,205	(1.9%)	15,366	(2.3%)	30,402	(1.8%)
その他及び他勘定振替	△28,129	(△2.7%)	△16,888	(△2.5%)	△49,411	(△3.0%)
売上原価合計	1,039,281		668,536		1,671,523	

▶ 外注比率が前年同期比増加しているが、通期との比較では特に高水準ではない。

通信費は減少。映像フォーマット利用のためのロイヤリティ支払(Flashが中心)が増加。 6

販売費及び一般管理費主要項目（連結）

※第10期中間 構成比率順 単位：千円

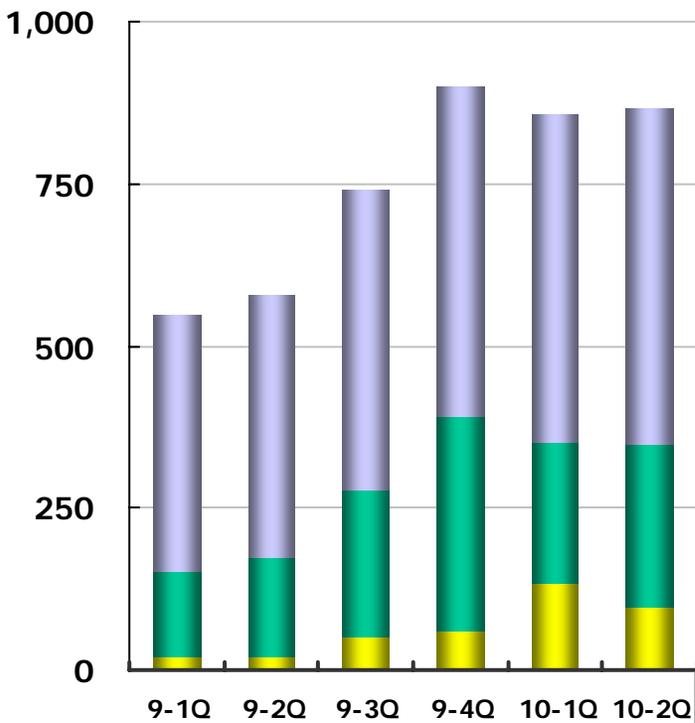
	第10期中間		第9期中間		第9期通期		備考
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	
人件費	301,508	(53.2%)	234,739	(56.5%)	515,169	(52.8%)	
販売促進費・ 広告宣伝費	38,325	(6.8%)	17,980	(4.3%)	83,483	(8.6%)	
地代家賃	25,989	(4.6%)	16,710	(4.0%)	36,015	(3.7%)	
株式関係費	21,957	(3.9%)	23,679	(5.7%)	35,278	(3.6%)	
研究開発費	14,841	(2.6%)	12,752	(3.1%)	53,250	(5.5%)	
求人費	11,056	(2.0%)	13,186	(3.2%)	33,861	(3.5%)	
その他 <small>（雑費、旅費交通費、支払手数料、賃借料等）</small>	152,956	(27.0%)	96,771	(23.3%)	218,125	(22.4%)	
販売費及び一般 管理費 合計	566,632		415,817		975,181		

▶ 増床により地代家賃が増加した以外、販売費及び一般管理費に大きな変化はない。

連結セグメント売上／利益状況

(単位:百万円)

◆ サイト企画制作(単発、利益率低め)などを行うことにより受注を行い、それによって配信売上(長期安定的、利益率高め)を増やす図式は不変。

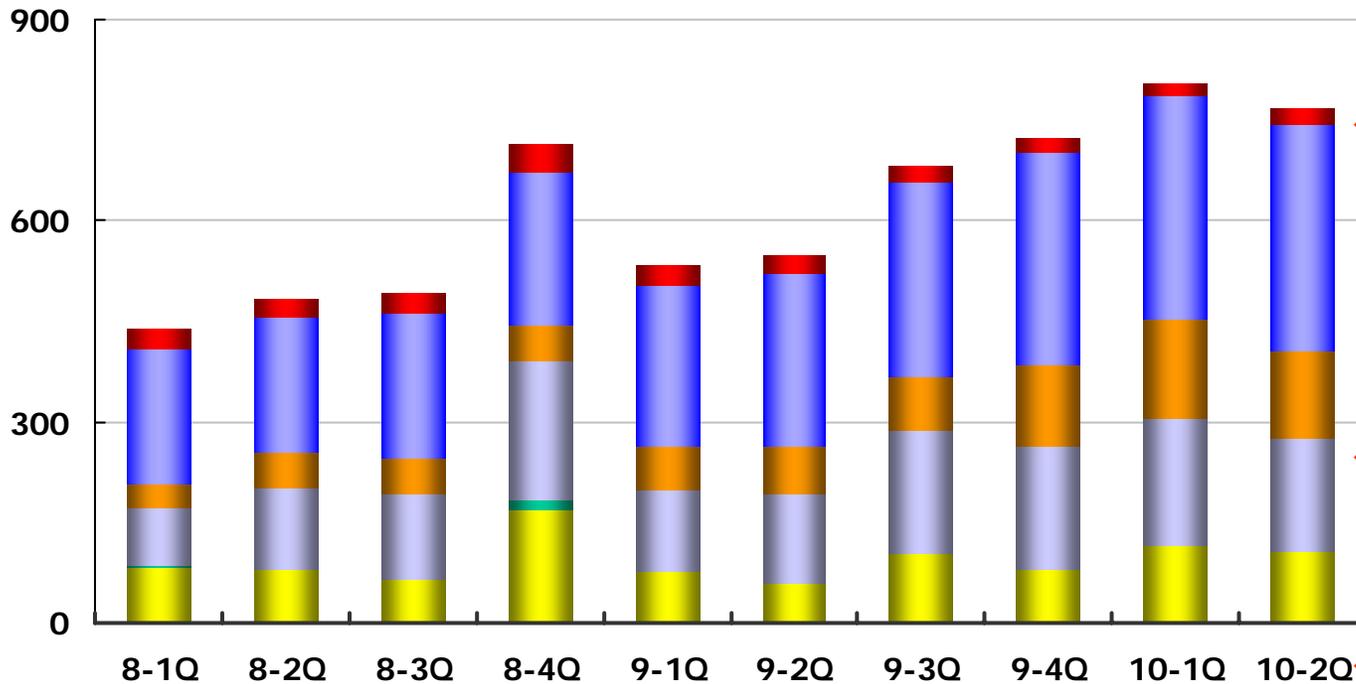


	9-1Q	9-2Q	9-3Q	9-4Q	10-1Q	10-2Q	中間期
配信	393	405	461	505	503	518	1,021
制作	131	153	226	331	217	250	466
その他	23	20	52	60	135	97	232
合計	546	579	739	897	856	865	1,720

連結セグメント／費用／利益				
	外部顧客に対する売上高	セグメント間の内部売上高又は振替高	営業費用	営業利益
配信	1,021		765	255
制作	466	1	435	32
その他	232		180	52
消去又は全社		△1	217	△219
	1,720		1,598	121

セグメント売上推移(個別)

(単位:百万円)



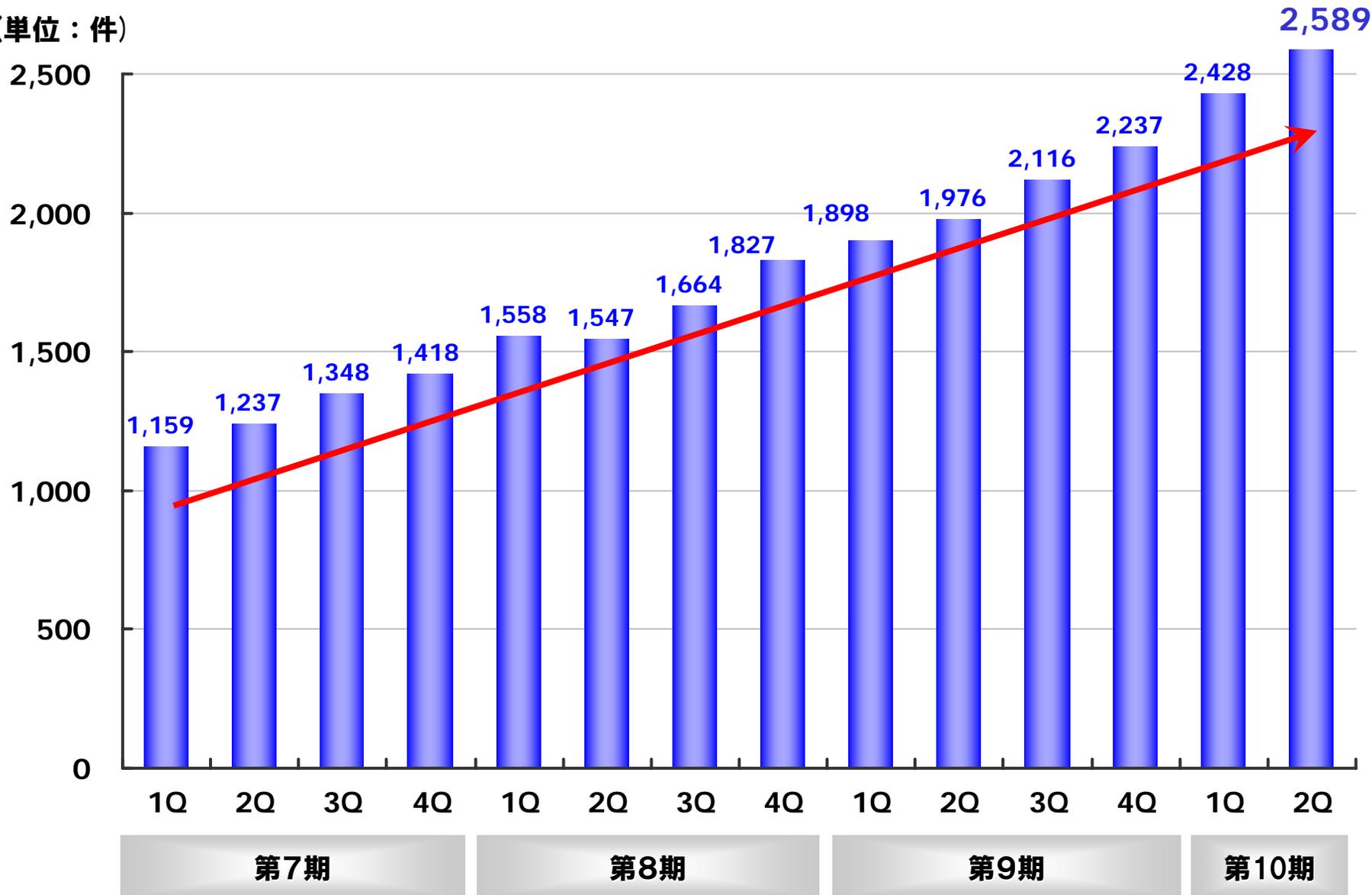
◆ 2Qにおいても前年度4Qを上回る売上となる。4Qの売上が突出する傾向が弱まっている。

◆ オンデマンドの売上が預かり量の増大に伴い順調に推移。

◆ スポーツ案件受注がありライブ売上が伸びたが件数は多くない。

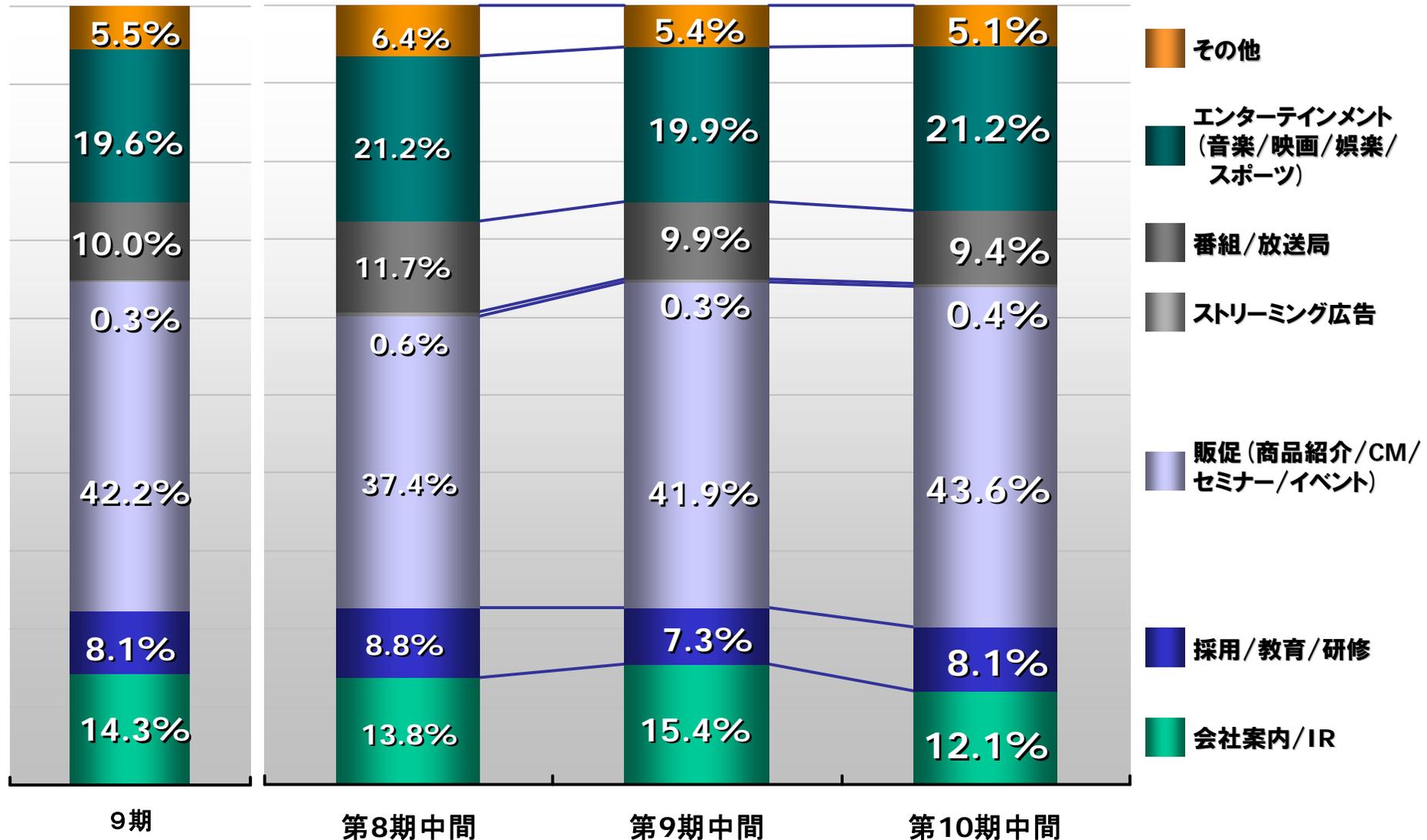
	8-1Q	8-2Q	8-3Q	8-4Q	9-1Q	9-2Q	9-3Q	9-4Q	10-1Q	10-2Q
ライブ	30	25	27	40	31	26	23	21	18	23
オンデマンド	200	203	218	229	238	259	291	316	333	337
モバイル	36	52	53	54	65	71	79	121	148	130
制作	88	121	126	207	123	133	185	183	189	169
コンサルティング	0	2	0	15	0	0	0	0	0	0
その他	84	79	66	168	77	58	103	81	114	105
合計	438	481	490	713	533	547	680	721	804	766

(単位：件)



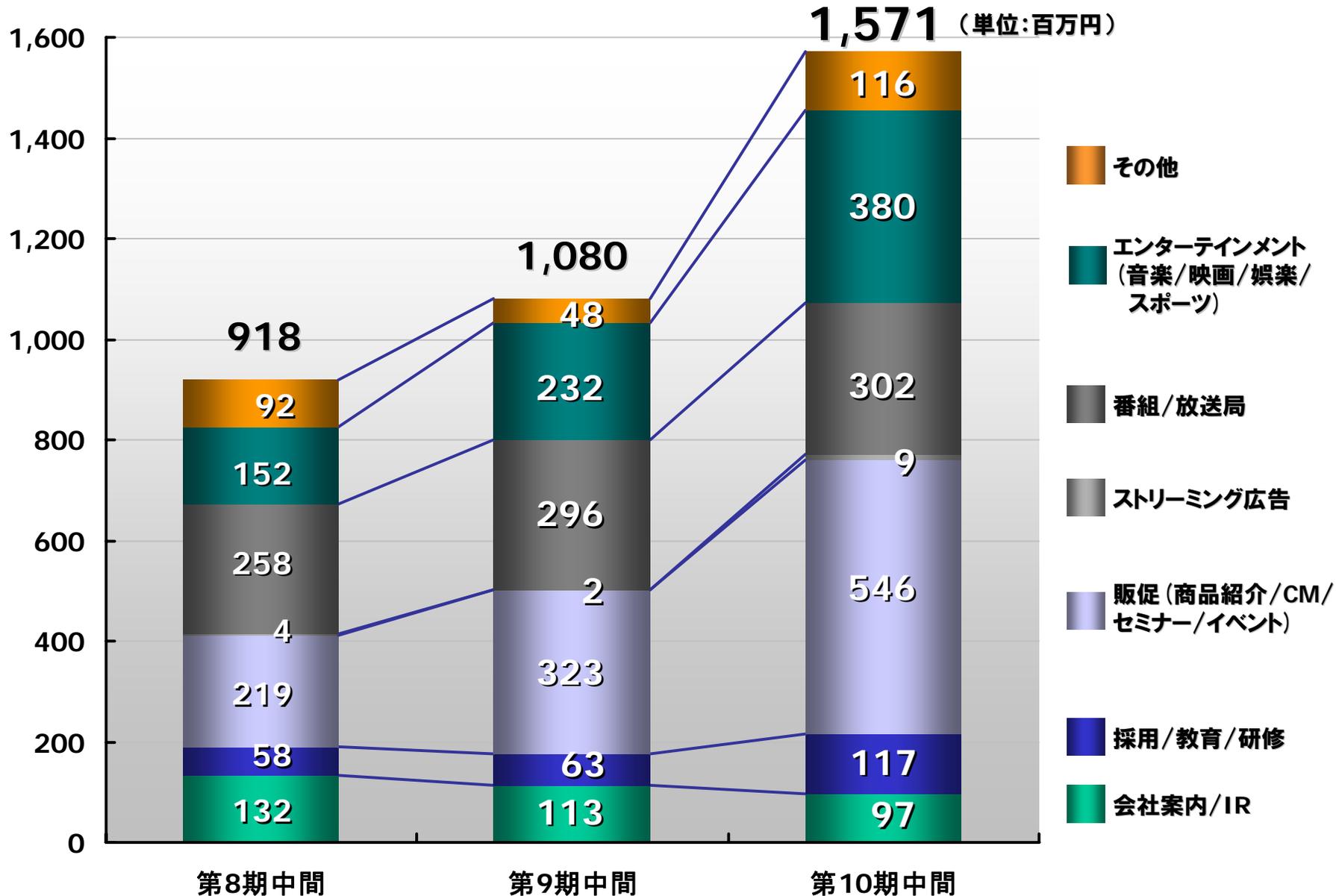
▶ 案件数の伸びは引き続き順調

用途別件数比率(個別)



引き続き販促等ビジネス用途の比率が高く、伸び率も高い。
エンターテインメント系も増加。

用途別売上比率(個別)



▶ 販促、エンタメ用途の伸びが著しい。教育研修用途の利用も拡大傾向。

設備・事業投資戦略／進行状況

(単位:百万円)

投資戦略	投資項目	実績	合計／ 10期計画
サービス強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配信容量の増加をコストを抑えつつ実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストレージ・サーバー等ネットワーク維持拡充 39 	<h2>98</h2> <p>(356)</p>
サービス 開発系投資	<ul style="list-style-type: none"> ■ Flash関連サービスの充実 小規模自動ホスティング (Jフラット商品化) FMSライブ配信 他 ■ 収録の高品質化(HD) ■ ポッドキャスト関連サービス強化 ■ モバイル:Vライブ関連、MNP関連 ■ 新キャリア対応投資 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 制作系 3 ■ 携帯用サーバー、ソフトウェア 8 ■ castellaシステム、Jフラットなど新サービス 30 	
社内システム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社内情報共有管理基盤の再構築／セキュリティ対応 ■ 経理・会計システム効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス増床に伴うもの 12 ■ その他 7 	

投資戦略	投資方針	進行状況
企業・事業 への 投資・協業	<p>引続き戦略投融資、協業推進【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ メディア、CP事業者 ■ WEB事業者 ■ 制作・システム関連 ■ 販売・マーケティング関連 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社BASIS PLANET (96.7%出資連結子会社。4月設立) システムの企画、調査、開発、販売、保守及びコンサル ■ 株式会社ブイキューブ (10月:マイノリティ出資) ウェブTV会議、オンラインセミナーなどを実施するビジュアルコミュニケーションツールの企画・開発・販売・運用・保守が主業務

メディア関連市場

- ◆ 大規模配信需要の喚起・取り込み
- ◆ 放送局、関連事業者への事業連携
- ◆ 広告収入ベースの配信モデル支援
- ◆ C向け有料配信ビジネスのサポート
- ◆ 新たな広告商材の共同開発

スポーツやエンタテインメントコンテンツの配信受注好調

デジタルコンテンツ課金システム「デコパ」を提供開始 (p.16)

ビジネス市場

- ◆ 商品プロモーション利用に向けたソリューションの拡充
- ◆ 入力フォームのサイト構築展開
- ◆ Web広告代理店との連携強化
- ◆ アウトソースの活用
- ◆ サイト運用業務の取組み
- ◆ 営業マンパワーに頼らない販売形態

大型案件含め順調に受注

プロモーション、情報提供など多くの領域で引き合い増加

「企業放送局」をメニュー化。大型、運用等丸抱えの受注を目指す。

インターネット上でのサービス申し込みによるFMS小容量ストリーミングサービス「Jフラット」を開始 (p.16)

モバイル市場

- ◆ FCaster / FProducerの拡販
- ◆ 大型プロモーション案件の取り込み
- ◆ CPとの協業ビジネスモデル確立
- ◆ モバイルキャリアからの運営受託
- ◆ LSJ運営体制会員数増加施策

ビジネス向けにNTTドコモ iチャンネル
むけのASPサービスの販売に注力

ゲーム会社、証券会社、化粧品会社、オンライン
ショッピングサイト、など多様な顧客に提供

プロモーション目的の携帯サイト利用
が増加中

CGM・新規事業

- ◆ CGM事業のビジネスモデル確立
- ◆ 「castella」のグランドオープン
「castella」利用会員囲い込み
- ◆ バイラルコンテンツ事業の検討開始
- ◆ 国外展開の検討

「動画投稿サイト」Askビデオ等にインフラ
提供中

<castella>

- ◆ オリジナルコンテンツを続々追加中。
- ◆ auサイトとしても展開。
- ◆ 有料プレミアム番組を提供開始

「RED GARDEN」で展開 (p.17)

◆デジタルコンテンツ課金サービス「デコパ」 (Digital Content Purchasing Services) 提供開始

クレジットカードとWebMoneyを使って決済可能。
デジタルコンテンツを有料販売する際必要な
決済機能、DRM機能、商品・売上管理機能をパッ
ケージしたASPサービス。

“castella” 有料プレミアム番組 でも利用中

◆「ナンバーシンク」の提供を開始 携帯電話番号ポータビリティに対応したい コンテンツプロバイダむけのASPサービス 「発信者番号通知」を利用し、電話番号を利用してMNP を利用してキャリアを変更したユーザーを認証する。 CPは会員がキャリアを変更してもポイントなどを引き継が せることができ、会員の利便性を向上できる。

◆「Jフラット」

ウェブ上の申し込みだけで簡単に小規模小容量のFlash Videoストリーミング配信ができるサービス
Web制作会社や一般企業の利用をターゲット。Jストリームとしては営業負担を減らせる構成。

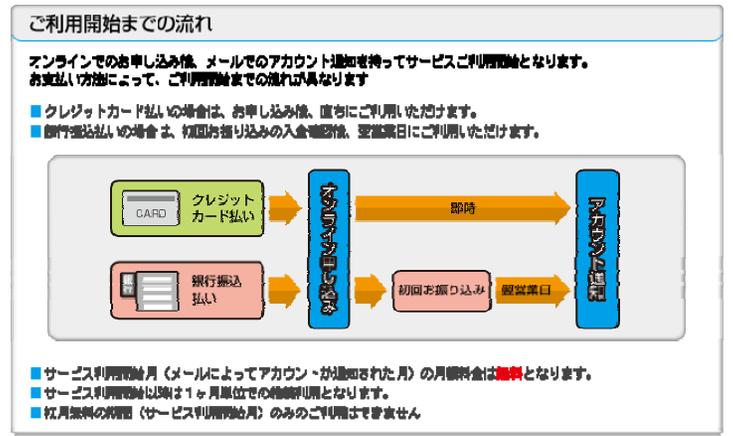
JFLAT ONLINE HOSTING SERVICE
オンラインホスティングサービス

ご利用開始までの流れ

Flash Videoストリーミングをお手軽、お手頃に。

- FMS Flash Media Server 2
- オンライン登録ですぐ使える
- 制作支援ツールを装備
- アクセスログもとれます
- 月額料金 8,505円～

お申し込みから、アップロード、ログ確認まで、すべてオンラインでのご利用になります。
お支払いはクレジットカードまたは銀行振込からお選びいただけます。



(単位:百万円)

	連結	個別
売上高	3,330	3,000
経常利益	180	200
当期純利益	130	150

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。